

## 平成 21 年度岐阜市地域福祉計画推進委員会議事概要

【日 時】 平成 21 年 10 月 26 日（月）14～16 時

【会 場】 岐阜市役所低層部 大会議室

【出席者】 飯尾 良英 伊藤 満 大西 由香 小川 サチ子 小野 新吾  
河村 康郎 鷺見 譲 栗山 理恵 出崎 秀人 林 昇  
広瀬 洋 藤澤 美幸

（敬称略。出席 13 名、欠席 3 名。）

### 【議事概要】

#### 1 第 2 期地域福祉計画の進行管理について

事務局説明

- ・第 2 期地域福祉計画の概要
- ・基礎データの推移
- ・「重点施策」に基づく事業展開

---

委員長

- ・第 2 計画における 1 年目の取組みについて、ご意見等をお聞かせください。

委員

- ・自治会加入率が低下している現状に対して、市としてはどのような対策を講じているのか？ 現在の取り組み状況をご報告いただきたい。

⇒事務局

- ・加入世帯数は増えているが、世帯分離などによる総世帯数の増加により「加入率」は下がっている。
- ・自治会加入推進に尽力された自治会長を対象にした表彰制度を創設した。集合住宅の建設にあたっては、建築主へ自治会設立の重要性について啓発に努めている。

委員

- ・自治会未加入の原因は地域ごと(集合住宅が多い地域や人口減少が著しい地域、など)に異なるものと考えられるため、地域ごとに分析するべきである。

⇒委員

- ・自治会未加入の原因としては、集合住宅(特に賃貸アパート)などの住民は従来からの地域住民とのつきあいのない方がほとんどであり自治会へ入りづらいと考えられること、今の若い年齢層(子育て層)には時間的余裕が少ないこと、また昔ほど地域コミュニティとかかわる必要がなくなってきたことなどが、考えられる。

#### ⇒委員

- ・自治会は、自治会として実施している子育て支援などをアピールするなど、若い世代に対しても加入メリットを訴求し、また若い世代のためになる活動を充実させていくべきである。その一方で、市は、そのような取り組みを進めている自治会をモデルケースとして応援していく必要がある。

#### 委員

- ・いきなり「まちづくり協議会を作してほしい」といわれると抵抗感がある。災害時要援護者支援対策など、重点施策として取り組む必要性を訴えながら、つまり、まちづくり協議会ありきで、「作ってくれ」といわれ、住民側には抵抗感が生まれると心配されるので、具体的な活動の必要性を説明しながら進めると良いと考える。

#### 委員

- ・まちづくり協議会は平成16年から実績があるということであるが、実施している地域の活動状況などを例示していただきたい。

#### ⇒事務局

- ・まずはまちづくり協議会と自治会との違いを強調したい。自治会組織とは別に地域の各種団体と連携して設立される新たな団体であること、そして、自治会は相互扶助などの活動もやっているが、まちづくり協議会は地域の課題や問題点を抽出する「話し合いの場」であることをご理解いただきたい。
- ・実施している地域の取り組み事例であるが、重点施策のなかの災害時要援護者支援対策は芥見南のまちづくり協議会で話し合われ、実施された防災訓練をモデルとしてきた経緯がある、また、京町地域では福祉施設と協働した要援護の見守りに取り組んでいる。本荘では、各種団体はもとより企業や包括支援センター、福祉施設とも組んで、見守り活動を進めているところであり、交通事故をきっかけとして、企業・事業所も巻き込んで、危険箇所マップづくりに取り組んでいる。

#### 委員長

- ・岐阜市の自治会活動は伝統的にしっかりしているという印象がある。自治会連合会長さん方とお話しする機会も多いが、加入率は低くなってきているが、リーダーはしっかりされた方が多い、志も高いと感じている。他市町村と比較して、そのように感じている。大変すばらしいことなので、今後とも支援していくことが大切であると考えます。
- ・社会福祉協議会の支部も20年も前から地域にしっかりと根を張って活動を展開と認識している。したがって、自治会と社協支部との関連も良く考えていただきたい。
- ・「自治会加入率が低くなったから、まちづくり協議会を」というのではなく、自治会を中心とした地域づくりを基本とするべきである。

#### 委員

- ・「生活・介護支援サポーター養成事業」は市社協への委託事業として実施するということであるが、現在の進捗状況をご説明いただきたい。
- ・また、養成後の事業展開について、より詳しくご教示いただきたい。

⇒事務局

- ・養成講座については、市社協との契約を締結したところであり、12月から受講生の募集を開始する。
- ・養成後はモデル地区などを選定して、実践を促進していきたいと考えているが、市社協と意見交換しながら具体化していきたい。今年度サポーター養成講座を受講していただいた方とも、お住まいの地域の課題や先進地域の事例を話し合ってもらい、我々も勉強させていただく必要があると考えている。

委員長

- ・計画を作った委員会として、市財政のきびしさは受け止めつつも、重点項目として掲げた事業は最大限推進していただくことをお願いしたい。
- ・事務局からの報告を受け、計画の進捗状況が順調であることをご確認いただけたことと思う。委員会として、今後ともこの計画に沿って地域福祉を推進していただくことをお願いしたい。